

主な意見・提言と回答

ご意見・ご質問	所管の委員会	回答
防災井戸整備について、防災井戸を造ることに異論はないが、一般的には50万円～100万円が可能ではないか。1,000万円かける井戸とはどういうものなのか。内訳は。	総務常任委員会	ボーリングだけではそこまでかからないと考えられるが、防災井戸ということで手動式での汲み上げを想定しており、通常の井戸とは構造上の違いもあると考えている。予算については、概略で1,000万円になっているが、内訳までは示されていません。
防災井戸整備について、どのような施設になるのか？	総務常任委員会	小学校を想定しているが、どのような井戸になるか、手動式以外の構造上の詳細は示されていません。
防災井戸整備について、生活用水の確保とあるが、飲料水の他に水洗トイレなどの衛生面でも利用するのか。これほどの予算をかけるのであれば雨水利用など検討してもいいのでは。	総務常任委員会	飲料水に関しては3日分ほど備蓄している。トイレであるとか、身体を拭くなどの衛生面としての生活用水の確保を想定しています。
ストックヤード整備事業について、ストックヤードは使い勝手が悪いから新たに建設されているのか。	総務常任委員会	現在の資源物広場では、一部の品目は屋根が無い場所での回収となり、雨に濡れてしまうことや、車両の導線上、安全面に注意が必要であるため、これらを解消し、より利用しやすい環境を整えるために、ストックヤードの整備を行っているものです。整備後は、現在の資源物広場の機能移転を予定しています。
ストックヤード整備事業について、旧ごみ処理施設の解体では、ダイオキシン、アスベスト等が指摘されているにも関わらず、安易な囲いで簡単に解体されている印象があるがどうなのか。	総務常任委員会	同規模のごみ処理施設の解体実績を持つ業者に、関係法令等を遵守したうえで、飛散防止策等をとってもらいながら、施工を進めています。
プラスチックごみ回収について、月1回の資源物回収ではプラスチックごみに対応しておらず、真木町まで持って行くのは遠く	総務常任委員会	現状、容器包装プラスチックは、真木町の資源物広場でのみ回収しているため、ご意見と同様のお声をお聞きしています。回収場所を増やす必要性を感じていますが、様々な課題があり、実現には至っていない状況にあります。

主な意見・提言と回答

て時間もかかるしガソリン代もかかる。各地のまちづくりセンターにあるといいと思うがどうか。そこまでできないのであれば、資源物回収時にプラスチックごみの回収をしていただけないか。		
防災備蓄事業について、消耗品費139万円は何人分になるのか。 自分の命は自分で守る意識づけが必要ではないか。	総務常任委員会	備蓄については、市民の5%分を対象としていますが、今回の消耗品についてはこれまで準備できていないものを加えることになります。自助に対する意識の浸透を図ることは必要だと考えています。
鳥栖駅周辺整備について、鳥栖駅西広場、サンメッセ広場をもっと利用しやすい環境整備を進めることができないのか。ベンチ、テーブルやパラソルなどがあると利用しやすくなるのではないか。	総務常任委員会	鳥栖駅西広場は、屋根は少ないですがベンチや移動式ベンチ、ロングベンチがあり自由に利用が可能です。また、イベント時にはオープンスペースに必要に応じて仮設テントや移動テーブルが設置されています。ご意見も含め、今後も利用しやすい広場となるよう担当課に伝えます。 サンメッセ広場については所管が違うため、提案内容は文教厚生常任委員会に伝えます。
万一大規模災害が起こった時、災害関連死に対する備えは十分か。	総務常任委員会	災害関連死は、避難所での疲労やストレスによる持病の悪化等が主な原因となることから、避難生活環境の改善のための備蓄品の充実を進めています。今年度は、簡易トイレや簡易ベッド等を導入する予定となっています。
避難所における情報伝達について問題提起。聴覚障がい者は身体的には健常者であり、文字を記入した紙を張り出してもらえばコミュニケーションが改善され、避難所生活及び運営が円滑になる。	総務常任委員会	大規模災害時の避難所運営等にあたっては、情報を得難い方への対応の一環として、ホワイトボードや掲示板等を活用してより多くの方が確認できる方法で災害情報等を伝達することを想定しています。

主な意見・提言と回答

避難所における備蓄品の充足率については。	総務常任委員会	備蓄食料については、県の要領に基づき人口の5%分を対象としており、継続的に更新ができるよう年次的に整備していくこととしています。
支援が必要な高齢者、老人、外国人の補足体制と町内会の役割の重要性については。	総務常任委員会	避難所に係る支援や生活困窮に関する支援については、高齢者や外国人において命に係わる重要なものと認識しています。そのため、支援が必要な方々に対しては市をはじめ、自治会や近隣住民の皆さんの気づきが重要であると考えており、そのためにも地域コミュニティが活性化していくことが重要であると思っています。
避難所における備蓄品について、ソフト面の予算が少ないような気がする。	総務常任委員会	備蓄食料については、県の要領に基づき人口の5%分を対象としており、継続的に更新ができるよう年次的に整備していくこととしています。令和7年度は近年の災害に対応するため防災備蓄事業として約4,800万円の予算が計上されています。
新幹線の鳥栖市としての意見は。アピールが足りない。	総務常任委員会	新鳥栖駅周辺の開発の可能性について、現在、駅周辺整備課において検討されています。
こども食堂はどういう対象に向けた取組か。	総務常任委員会	こども食堂の対象者としては、子どもはもちろんのこと、子どもや子育て世帯に限定せずに、対象者を高齢者や地域住民に拡げて地域食堂としているところもありますが、子どもとその保護者に限定している食堂もあります。鳥栖市内にはこども食堂と地域食堂を合わせて10ヶ所ほど出来ていると聞いています。
こども食堂に対して鳥栖市はどのような支援をしているのか。また、全国的に子どもは無料なのか。	総務常任委員会	鳥栖市では市民活動団体の登録制度を設けており、登録されたこども食堂はまちづくり推進センターの施設使用料の減免や補助金の申請のあった団体には市民活動補助金の交付を行っています。（地域福祉課において生活困窮者の支援に取り組む団体に対して補助金などの支援があります。）運営費をまかなうための助成金や補助金などは団体自らが模索し、取得しているのが実態です。全国的には多くのこども食堂では子どもは無料で、大人は有料のところが多いと思います。
公園整備を充実させて、その中に噴水を作り、水遊びができるところが欲しい。	建設経済常任委員会	市執行部に聞き取りを行ったところ、以下のとおり回答がありました。 現在、具体的な計画はございませんが、公園の整備について計画する際には、噴水等の水遊びができる公園施設の設置について検討したいと考えております。

主な意見・提言と回答

轟木川の河川改修工事があったが、地元（地元住民）に丁寧な説明を求める。	建設経済常任委員会	河川管理者の佐賀県東部土木事務所に伝え、市執行部から回答を得ました。
宅地化が進み豪雨災害が心配。	建設経済常任委員会	浸水被害の軽減については、鳥栖市浸水対策検討会において検討を進めております。
水害対策は十分か、鳥栖南部を例示。	建設経済常任委員会	現在、鳥栖市浸水対策検討会において、浸水被害の軽減に向けた検討を進めております。
中央公園の池をもっと活用してほしい。埋め立てや綺麗にしてほしい。	建設経済常任委員会	市執行部に聞き取りを行ったところ、以下のとおり回答がありました。 中央公園は、基本計画の策定に着手しており、池の整備も計画において検討することになります。なお、中央公園付近で道路冠水被害が発生しているため、新たな浸水緩和策として池の活用も検討します。
サガン鳥栖の試合の時などに鳥栖をPRする、回遊する仕組みなどないのか。	建設経済常任委員会	現在、市執行部では、サガン鳥栖のホームゲームでは、鳥栖市の銘菓やグッズの販売、市内観光マップの配布や、ふるさと納税の返礼品のサンプリング及び市内回遊策の更なる検討のためにアンケート調査を実施しています。
何か一つドンと作った方がいいと思う。（多目的グラウンドなど）	文教厚生常任委員会	多目的グラウンドを造ってスポーツ交流都市を作りたいというのは市長公約でもあり、現在、候補地について、龍谷短大跡地だけでなく、ほかにも検討されているようです。市長任期中の候補地選定に向け、取り組みを急ぐよう求めています。
子どもの医療費の一部自己負担をなくして欲しい。	文教厚生常任委員会	執行部に尋ねたところ、助成の対象は恒常的な財源を必要とするので、市で行う様々な事業を適切に判断し、検討する必要があるとのことでした。 今後議論を重ね、委員会として一致して後押しができるよう取り組んでまいります。なお、鳥栖市は、全国どこでも安心して医療を受けられるよう、全国一律の18歳までの医療費無料化制度の創設を国に対し要望しています。
学校の体育館にエアコンをつけてほしい。	文教厚生常任委員会	令和7年度予算で空調整備の「調査費」が計上されており、防災の避難所という観点からも、整備に向けた検討を早急に進めていただけるよう取り組んでまいります。